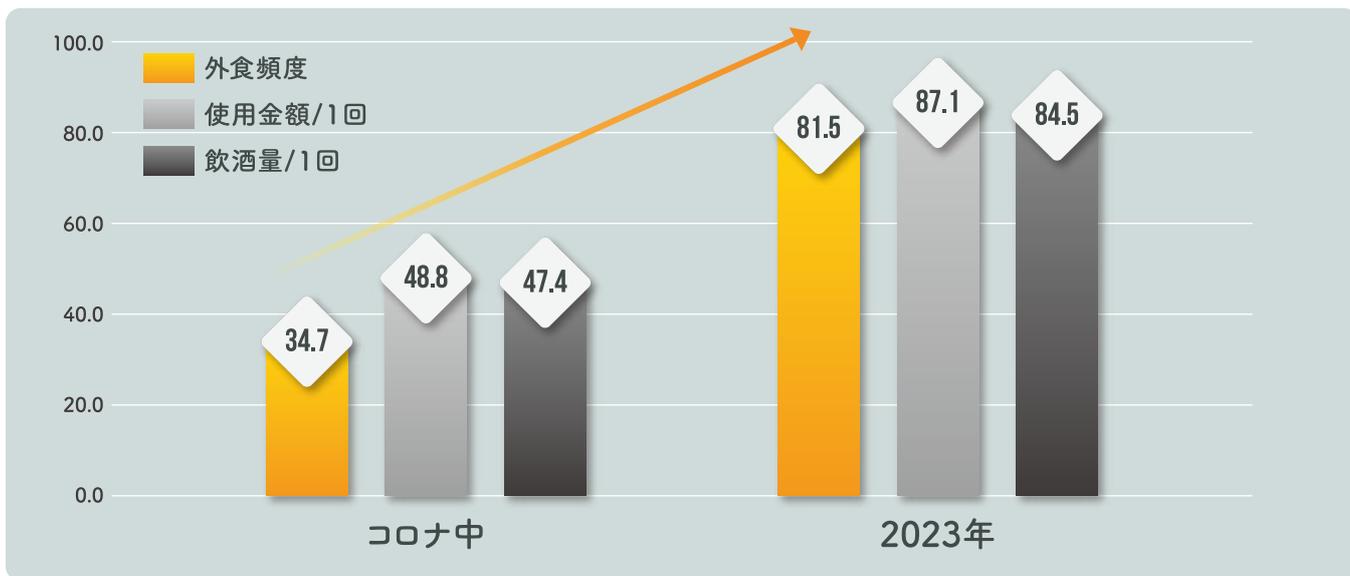


外食トレンド通信

Vol. 27

- 外食の頻度、使用金額、飲酒量はコロナ前8割まで回復
- 特に使用金額にしてはコロナ前比87.1%と許容単価が上昇していることがうかがえる

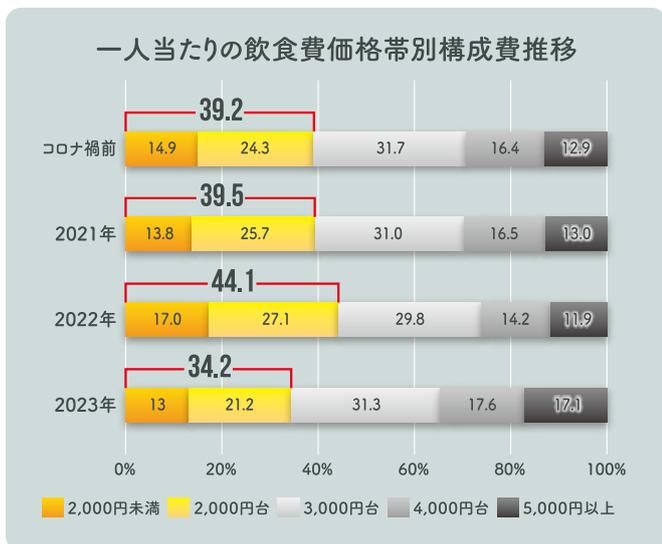
「コロナ禍前」からの回復状況 コロナ禍を100としたときの「コロナ中」「2023年」の場合



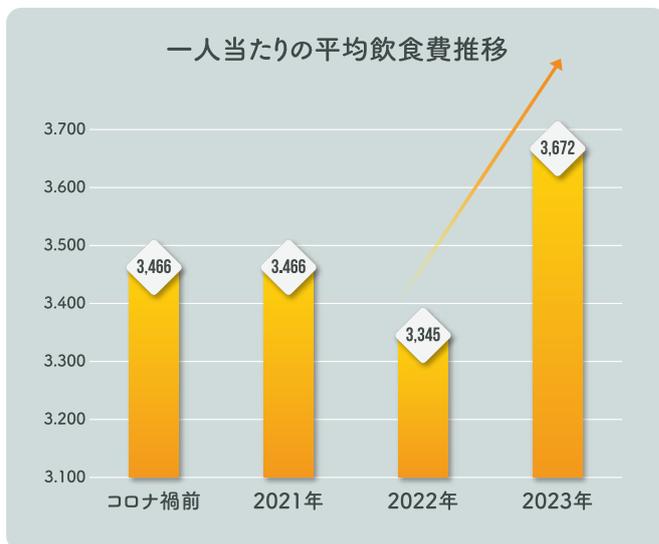
単位：パーセント 出典：外食WEB調査 N=1600 対象期間：2023年6月～2023年8月

- 2023年は1回あたりの平均飲食費単価は上昇、コロナ以前を超える水準に

2023年は4,000円以上の構成比が高まっている
3,000～5,000円がボリュームゾーン



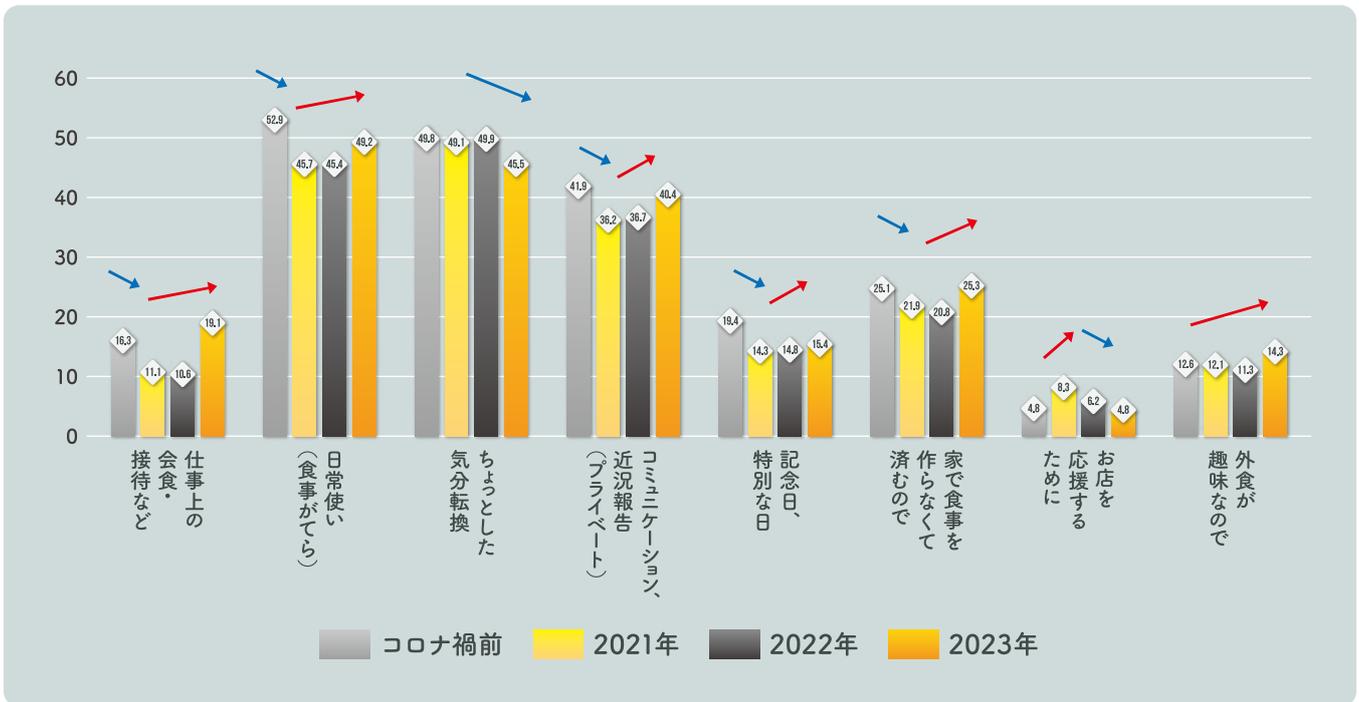
2023年は平均飲食費が300円以上上昇



単位：パーセント 出典：外食WEB調査 N=1600 対象期間：2023年6月～2023年8月

- 全体としてコロナ前トレンドに利用動機は戻りつつあり、仕事上の外食はコロナ以前以上に
- 応援消費的な側面は減少

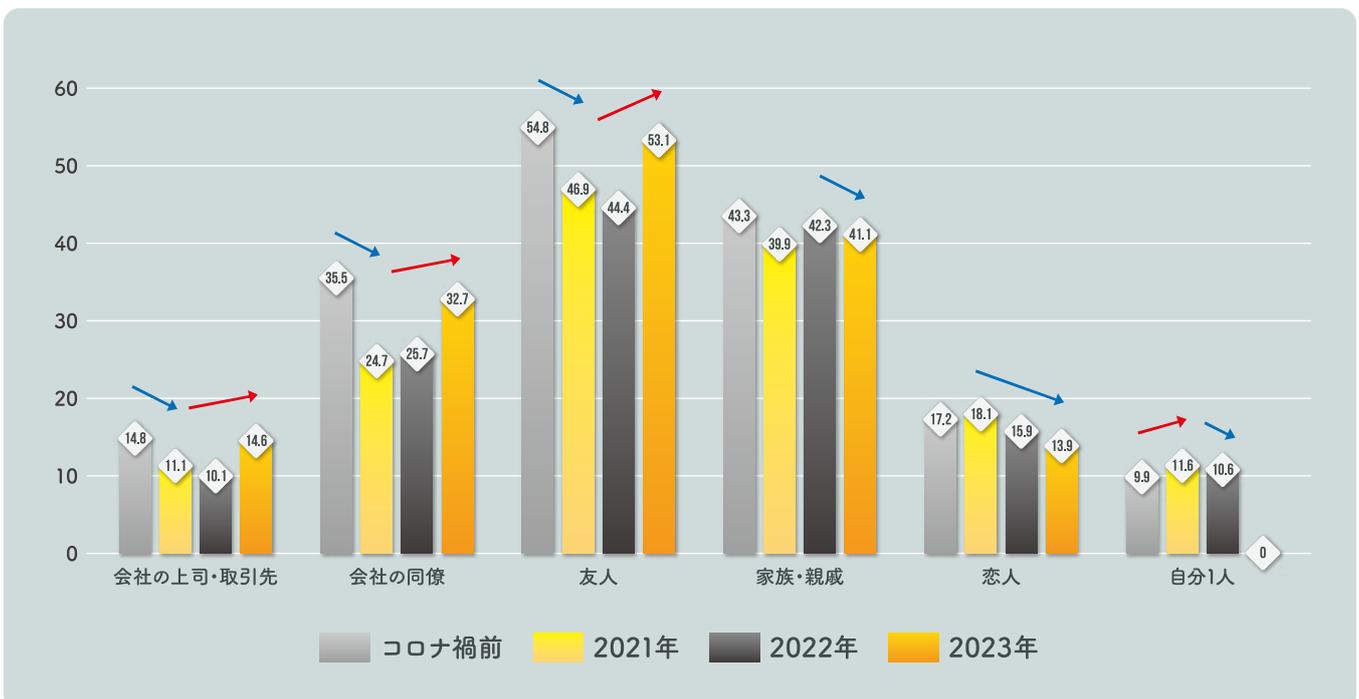
外食の目的及び理由



単位:パーセント 出典:外食WEB調査 N=1600 対象期間:2023年6月~2023年8月

- 「会社の上司・取引先」、「会社の同僚」とともに増加
- 「家族・親族」、「恋人」、「自分1人」が減少し、「友人」は増加

外食時の同行者



単位:パーセント 出典:外食WEB調査 N=1600 対象期間:2023年6月~2023年8月